

視覚障がい者について学び、配慮について考える機会を提供

一般社団法人岡山県ユニバーサルスポーツ文化協会 岡山デビルバスターズ

活動の目的

ブラインドサッカーは、視覚障がい者と健常者が協力し、競技を行う。このスポーツの特徴を生かし、小学生、中学生に視覚障がい者を学び、配慮できる体験を提供する。2019年度は、2018年度の目的を継承し、参加者に解り易い体験会を提供するため、コンテンツの充実を図り、その機会を増やす。また、プログラム、指導方法を高度化することにより、大人数での参加者でも対応できるようにする（従来の20名から100名程度まで）。期待される効果は、①視覚障がい者への配慮・支援ができるようになること、②視覚障がい者が安全に、安心して社会生活を送ることができる街づくり。③集団・社会生活の中で、仲間との信頼関係を育む力をつける。

活動の内容及び経過

体験会開催状況

- ・岡山市立旭東小学校 2019年7月15日（参加者：50名）
- ・岡山市立大元小学校 2019年9月10日（参加者：80名）
- ・香川県小豆島町立小豆島中学校
2019年10月30日（参加者：80名）
- ・岡山市立御南小学校 2019年11月12日（参加者：40名）
- ・岡山大学付属小学校 2019年11月12日（参加者：60名）

体験会内容

①視覚障がい者の理解と介助について

- ・視覚障がい者の見え方について解説
- ・アイマスクをつけ視覚障がいを体験
- ・携帯用点字ブロック、白杖を体験してもらい、介助方法も体験

②ブラインドサッカー体験

- ・音のなるボールを使い、キャッチ、トラップ、パス、シュートの体験
- ・ミニゲーム

活動の成果・効果

受講生感想

- ・目が見えないと、怖い、疲れる
- ・障がいは、特別ではないことがわかった
- ・困っているひとを見かけたら勇気を出して声をかけます
- ・ブラインドサッカーは、難しいけど、声だけでみんなと協力することが楽しい
- ・目の不自由なひととの接し方がわかりました

所感

体験会では、「障がい」は決して特別なことではなく、「不得手」なことであり、健常者が「得意」なことで手伝って



あげることが大切であると伝えている。参加者は、視覚障がいを体験することで、視覚障がいの理解が出来、また、介助方法を学ぶことにより、今後の優しい活動につながると考える。

今後の課題と問題点

体験会コンテンツの充実、指導方法の高度化により1回あたりの参加者数は、80名程度まで対応ができるようになった。しかしながら、講師担当メンバーは固定されており、体験会のスケジュールがその講師の予定に制限される。

- 代表者：羽根田秀俊 ●所在地：岡山市中区西川原
- TEL：080-9514-1357
- E-MAIL：devilbusters0425@gmail.com
- URL：http://okayama-devilbusters.spo-sta.com/
- 設立年：2015年 ●メンバー数：15名